

はじめにお読みください

本システム JSP-Chart-DB Ver.1 は、旧版 JSP-Chart Ver.4／JSP-DB Ver.1 を元に機能追加したものです。

■対応OS : Windows10 / Windows11

■会員番号について

日本歯周病学会の会員番号を基準にシステムが構成されています。

●会員番号ごとにフォルダを作成しデータを管理します。

(例) 会員番号が「123456」の場合

フォルダ : C:\Program Files (x86)\JSP-DB\123456

データファイル : JSP-DB-123456.MDB

※同一 PC で複数人での利用が可能 (旧版 JSP-Chart Ver. 4 より利用しやすくなりました)

●提出するファイルは、デスクトップの「JSP-DB-SAVE」フォルダに保存されます。

以下の3種類が対象です。 (区分=N、会員番号=123456、症例番号=5 の場合の例)

- ・検査データの PDF ファイル : N_123456_5_D_20240814_1612.pdf
- ・チャートデータの PDF ファイル : N_123456_5_C_20240814_1615.pdf
- ・全データの ZIP ファイル : N_123456_20240814_1630_JSP-DB.zip

※区分の説明 S: 専門医、N: 認定医、H: 認定歯科衛生士

●会員番号の修正

会員番号を間違えたまま入力された場合、または、仮の会員番号で入力された場合は、「追加情報／ツール」の「データの管理」で。会員番号の変更が可能です。
フォルダとデータファイルを変更します。

■JSP-Chart-DB Ver. 1 のインストールについて

旧版 JSP-Chart Ver. 4 はアンインストールせずに、JSP-Chart-DB Ver. 1 をインストールします。
JJSP-DB Ver. 1 がインストール済みの場合は、アンインストール後、JSP-Chart-DB Ver. 1 をインストールします。

■旧版 JSP-Chart Ver. 4 のデータについて

旧版 JSP-Chart Ver. 4 のデータを継続利用したい場合はインポートしてください。

はじめて起動した時に「旧版 JSP-Chart インポート」の表示を確認します。

表示できない場合は、「追加情報／ツール」の「旧版 JSP-Chart インポート」で実行してください。

■JSP-DB Ver. 1 のデータについて

JSP-DB Ver. 1 のデータはそのまま継続されます。

ただし、追加情報が機能追加されていますので、見直しをお願いします。

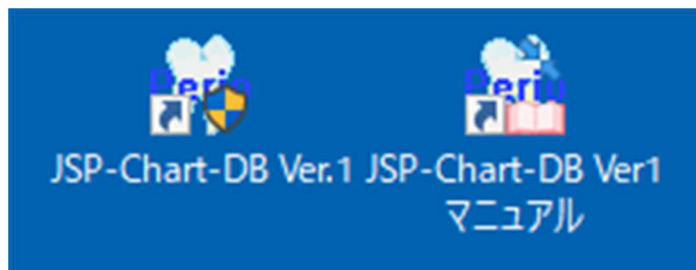
1. インストール … 4
2. 入力画面の説明 … 5-6
3. プログラムの起動 … 7-9
 - 3-1. プログラムの実行 … 7
 - 3-2. 歯周病学会会員番号の入力 … 7
 - 3-3. 会員番号フォルダの作成確認 … 8
 - 3-4. JSP-Chart インポートの表示確認 … 8
 - 3-5. 入力画面の表示 … 9
4. 患者情報の登録 … 10
 - 4-1. 患者番号選択 … 10
 - 4-2. 検査日の入力 … 10
 - 4-3. 治療ステージ選択 … 10
 - 4-4. 医院用患者番号入力 … 10
 - 4-5. 症例番号入力 … 10
5. 検査データの入力 … 11-18
 - 5-1. 歯の状態の設定方法 … 11
 - 5-2. 検査値入力順序 … 11
 - 5-3. 検査値入力方法 … 12-13
 - 5-4. キーボードを使用しての入力操作 … 14
 - 5-5. 入力データを保存する … 15-16
 - 5-6. 検査データ追加 … 16
 - 5-7. 表示データ削除 … 16
 - 5-8. 1 患者削除 … 17
 - 5-9. プログラムの終了（バックアップ／最適化） … 17-18
6. チャート表示と印刷 … 19-22
 - 6-1. チャート表示画面の構成 … 19-20
 - 6-2. チャートの見方 … 20
 - 6-3. チャート印刷 … 20
 - 6-4. 印刷見本 … 21-22
7. 追加情報の入力 … 23-24
 - 7-1. 「追加情報／ツール」画面の表示 … 23
 - 7-2. 追加情報の入力 … 23-24
8. 提出用ファイル作成 … 25
 - 8-1. 「追加情報／ツール」画面の表示 … 25
 - 8-2. 提出用ファイル作成 … 25
9. 旧版 JSP-Chart インポート … 26
 - 9-1. 「追加情報／ツール」画面の表示 … 26
 - 9-2. 旧版 J S P チャートインポート … 26

- 10. データ管理 … 27-28
 - 10-1. 「追加情報／ツール」画面の表示 … 27
 - 10-2. データ管理の表示 … 27
 - 10-3. データのバックアップ … 27
 - 10-4. データの復元 … 27
 - 10-5. 会員番号の変更 … 28
 - 11. バージョンアップ … 29
 - 11-1. 「追加情報／ツール」画面の表示 … 29
 - 11-2. バージョンアップの表示 … 29
 - 11-3. バージョンアップの確認と実行 … 29
 - 12. 検査データ不備時のメッセージ … 30
-

1. インストール

別紙「JSP-Chart-DB Ver1 インストールマニュアル.pdf」を参照してください。

インストールすると以下のアイコンがデスクトップに表示されます。



2. 入力画面の説明

- ① 本ソフトウェアの詳細バージョンです。
- ② 患者番号 1から30まで30人分登録可能です。98, 99にサンプルデータがあります。
- ③ 検査データ 登録された検査の検査日とステージが表示されます。
- ④ 前後 検査データを日付で前後に移動します。
- ⑤ 検査データ追加 表示患者に新たな検査日を追加します。
- ⑥ 表示データ、1患者削除ボタン 表示されている検査データ、患者を削除できます。
- ⑦ 検査日 西暦:4桁または下2桁入力 月:2桁または1桁 日:2桁または1桁で登録できます。
- ⑧ 治療ステージ 初診時・基本治療終了時・SPT移行時・最新SPT時を登録します。
- ⑨ 医院用患者番号 院内で使用する患者番号を入力し患者確認に使用します。
最大10文字までの半角数字で入力してください。
※提出データに含まれます。
- ⑩ 症例番号 症例報告の印刷時に印刷されます。(未入力の場合は、患者番号を印刷)
- ⑪ 歯周ポケット(入力用セル) 1～16までの数値と出血、排膿の有無が入力可能です。
- ⑫ 歯の動揺度(入力用セル) 0～3までの数値が入力可能です。
- ⑬ 根分岐部病変(入力用セル) 病変なし、Ⅰ～Ⅲまでの数値が入力可能です。
- ⑭ プラーク付着(入力用セル) 三角のセルをクリックすることでプラークの有無を記録します。
4面すべての有無は⑮のデータ入力ボタンでも可能です。
- ⑮ 歯番表示 歯番を数字で示しMT・インプラント・ポンティックの状態を背景色で示します。
クリックすることでデータ入力カーソルが移動します。

⑩ データ入力ボタン 0から16 以上まで用意されています。また、プラーク4面の入力に使用します。

⑩～⑬の検査にあわせて、ボタンが有効／無効に変化します。

⑪ 出血・排膿操作ボタン

・「出血」ボタンをクリックするとカーソル位置の数値部分が出血あり(赤文字)になります。

もう一度「出血」ボタンをクリックすると出血なし(黒文字)になります。

・「出血一括」ボタンをクリックするとボタンが「一括選択中」になり、クリックした数値部分を出血あり(赤文字)と出血なし(黒文字)に指定できます。

歯番をクリックすると6点すべてを出血あり(赤文字)と出血なし(黒文字)に指定できます。

・「一括選択中」に変化したボタンをもう一度クリックすると「出血一括」に変わり、一括入力が無効になります。

・排膿も同一の操作ですが、排膿の場合は背景が変化し黄色になります。

⑫ 検査データクリア 該当検査箇所データをクリアします。

⑬ 歯の状態登録ボタン

MT 該当歯を欠損歯にします。選択部分の歯番が青く変化します。

インプラント 該当歯をインプラントにします。選択部分の歯番が黄色に変化します。

ポンティック 該当歯をポンティックにします。選択部分の歯番がピンク色に変化します。

⑭ 表示/印刷 表示・印刷の画面を表示します。

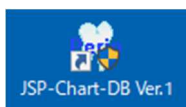
⑮ ファイル/ツール ファイル画面・ツール画面を表示します。

⑯ 保存・終了 保存:作業中のデータ保存を行います。 終了:本プログラムを終了します。

3. プログラムの起動

3-1. プログラムの実行

デスクトップの以下のアイコンを起動します。



3-2. 歯周病学会会員番号の入力

日本歯周病学会 専門医・認定医・認定歯科衛生士用
歯周検査ソフト JSP-Chart-DB Ver.1
Produced by DSC Corporation. 2006-2024.

会員番号を入力してください。

※会員番号を元にデータ管理や提出ファイル作成をします。 ☐ 以下の説明を閉じる

●会員番号ごとにフォルダを作成しデータを管理します。
(例) 会員番号が「123456」の場合
フォルダ : C:\Program Files (x86)\JSP-DB\123456
データファイル : JSP-DB-123456.MDB
※同一PCで複数人での利用が可能

●提出するファイルは、デスクトップの「JSP-DB-SAVE」フォルダに保存されます。
以下の3種類が対象です。(区分=N、会員番号=123456、症例番号=5の場合の例)
・検査データのPDFファイル : N_123456_5_D_20240814_1612.pdf
・チャートデータのPDFファイル : N_123456_5_C_20240814_1615.pdf
・全データのZIPファイル : N_123456_20240814_1630_JSP-DB.zip
※区分の説明 S: 専門医、N: 認定医、H: 認定歯科衛生士

●会員番号の修正
会員番号を間違えたまま入力された場合、または、仮の会員番号で入力された場合は、
「追加情報/ツール」の「データの管理」で、会員番号の変更が可能です。

必須入力です。

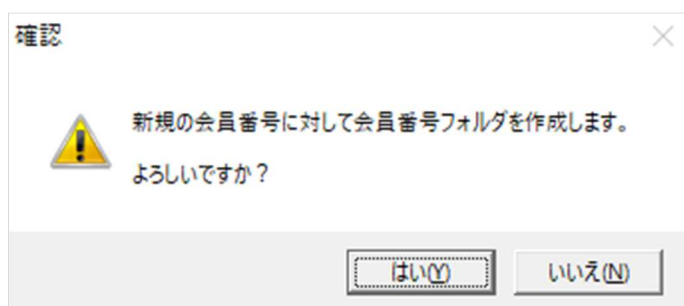
以下の説明が不要
な場合はチェックし
ます。

日本歯周病学会 専門医・認定医・認定歯科衛生士用
歯周検査ソフト JSP-Chart-DB Ver.1
Produced by DSC Corporation. 2006-2024.

会員番号を入力してください。

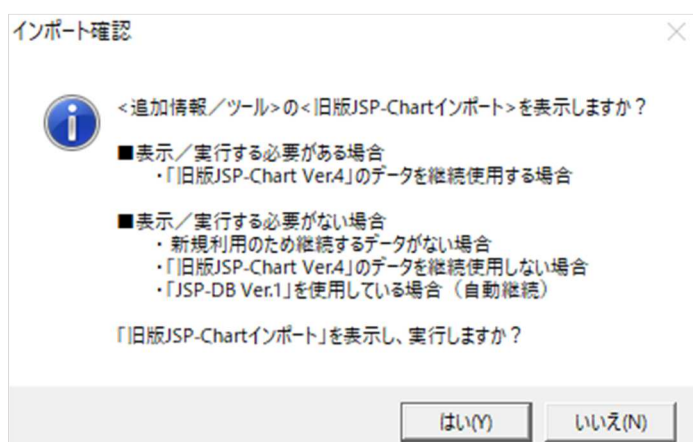
※会員番号を元にデータ管理や提出ファイル作成をします。 ☒ 以下の説明を閉じる

3-3. 会員番号フォルダの作成確認



作成済みの場合は表示されません。

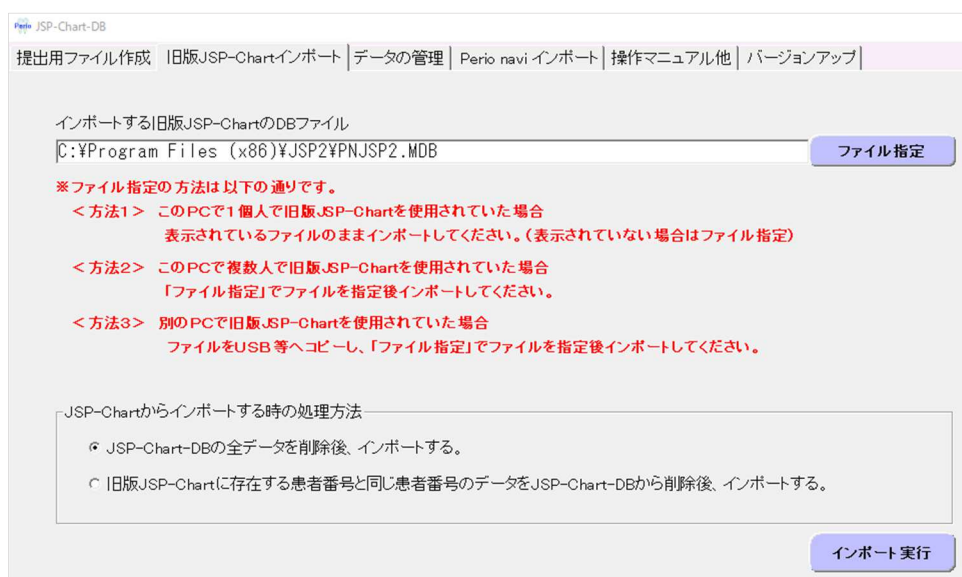
3-4. 旧版 JSP-Chart インポートの表示確認



以下の操作をした場合、次回からは表示されません。

- ・「いいえ」をクリック
- ・JSP-Chart インポートを実行

「はい」をクリックすると「旧版 JSP-Chart インポート」が表示されます。
※「追加情報／ツール」の「旧版 JSP-Chart インポート」でも表示できます。



「ファイル指定」と「処理方法」を確認し「インポート実行」をクリックします。
インポート完了後、入力画面に戻り、患者番号を指定してデータを確認します。

3-5. 入力画面の表示

入力画面が表示されます。

使用ファイルが表示されます。

4. 患者情報の登録

4-1. 患者番号選択

1 から 30 までの番号をプルダウンメニューより選択します。(98, 99 はサンプルデータです)



4-2. 検査日の入力

検査日（年月日）を入力します。（年は、西暦の 4 桁または下 2 桁／月日は、2 桁または 1 桁）



検査日に問題の可能性がある場合は、以下のように背景が赤になります。



4-3. 治療ステージ選択

治療ステージをプルダウンメニューより選択します。



4-4. 医院用患者番号入力

医院用患者番号・その他を入力します。最大 20 文字まで入力可能（全角半角入力可能）。



4-5. 症例番号入力

症例番号を入力します。症例報告書の症例番号に印刷されます。

症例番号がblankの場合は、患者番号が症例報告書の症例番号として印刷されます。



5. 検査データの入力

5-1. 歯の状態の設定方法

5-1-1. 歯の状態を指定する方法

1. 指定する歯の歯番号入力部位をクリックします。(何も指定されていない状態)
2. いずれかのボタンを押し、「はい」をクリックします。



3. 歯番号の背景色がボタンの色と同じになります。

5-1-2. 歯の状態を解除する方法

1. 解除する歯の歯番号をクリックします。(指定されている状態)
2. 「はい」をクリックします。
3. 歯番号の背景色が白色になります。

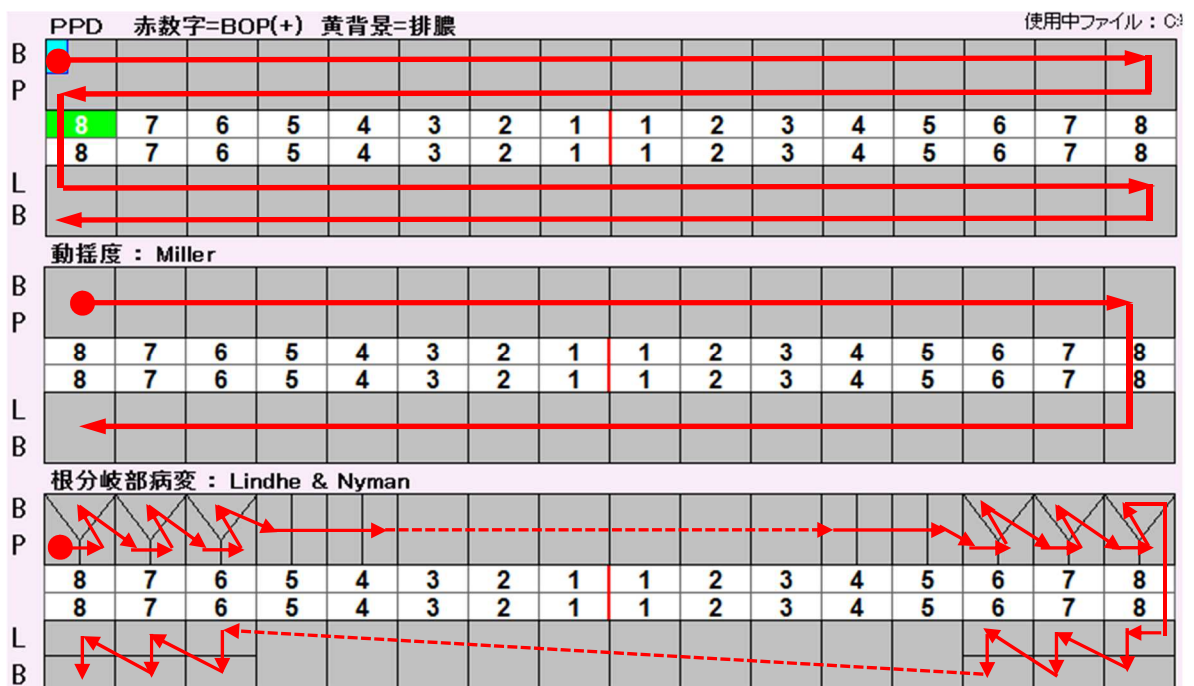
5-1-3. 歯の状態による検査可能／不可

- MT、ポンティック : 全検査入力不可
インプラント : 根分岐部病変のみ入力不可

5-2. 検査値入力順序

PPD、動揺度、根分岐部病変の入力順序は、以下の通りです。

スタート位置 : ●



5-3. 検査値入力方法

5-3-1. PPD（ポケット測定）

各数字ボタンをクリックしてポケットの深さを入力します。

6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。

出血：入力部位の出血あり／なしを指定します。

出血あり:数字が赤色、出血なし:数字が黒色

排膿：入力部位の排膿あり／なしを指定します。

排膿あり:背景が黄色、排膿なし:背景が白色

出血一括：複数箇所の出血あり／なしを連続で指定します。

クリックする箇所で動作が異なります。

入力部位：その部位のあり／なしを切替え

歯番：その歯の6点のあり／なしを切替え

排膿一括：複数箇所の排膿あり／なしを連続で指定します。

クリックする箇所で動作が異なります。

入力部位：その部位のあり／なしを切替え

歯番：その歯の6点のあり／なしを切替え

検査データクリア：カーソル位置の部位を未検査にします。

5-3-2. 動揺度

各数字ボタンをクリックして動揺度を入力します。

6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。

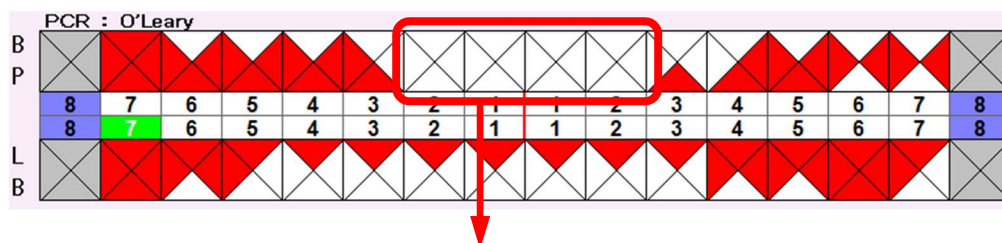
検査データクリア：カーソル位置の歯を未検査にします。

5-3-3. 根分岐部病変

1	2	3	} 各数字ボタンと病変なしをクリックして根分岐部病変を入力します。 6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。
0	病変なし		
全歯あり	全歯なし		
4面あり	4面なし		
出血	出血一括	検査データクリア	} 検査データクリア：カーソル位置の部位を未検査にします。
排膿	排膿一括		

5-3-4. PCR（プラーク付着）

プラーク付着部位を直接クリックして入力します。



歯の4面がすべて付着なしの場合は、「4面なし」ボタンで付着なしにしてください。

未検査（グレー表示）のままでは、プラーク付着率の計算が正しく表示されません。

全歯あり	全歯なし	} すべての部位、または、未検査の部位を あり／なし にします。
4面あり	4面なし	
出血	出血一括	} 検査データクリア：カーソル位置の歯の4面を未検査にします。
排膿	排膿一括	

5-4. キーボードを使用しての入力操作

ソフトウェア画面上のボタンのほかに、キーボードを使用した操作も可能です。

	測定値の1～9		1 ～ 9を押す
	測定値の10～16		/を押して、0 ～ 6を押す
	出血あり		出血なし
	出血あり		5 +を押す
	出血なし		5 -を押す
	排膿あり		*を押して、+を押す
	排膿なし		*を押して、-を押す

5-4-1. 共通操作

未検査（検査値クリア）：	・（ピリオド）
前の部位：	BS（Back space）
または	Ctrl を押しながら ←
または	Shift を押しながら ←
次の部位：	Enter（Enter）
または	Ctrl を押しながら →
または	Shift を押しながら →

5-4-2. PPD（ポケット測定）

深さの数値（0～9）：	0 ～ 9
深さの数値（10～16）：	/を押したあとに 0 ～ 6
出血あり：	+
出血なし：	-
排膿あり：	*を押したあとに +
排膿なし：	*を押したあとに -

5-4-3. 動揺度

動揺度の数値（0～3）：	0 ～ 3
--------------	-------

5-4-4. 根分岐部病変

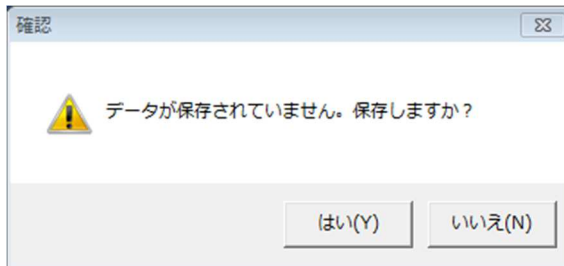
根分岐部病変の数値（1～3）：	1 ～ 3
病変なし：	0

5-5. 入力データを保存する

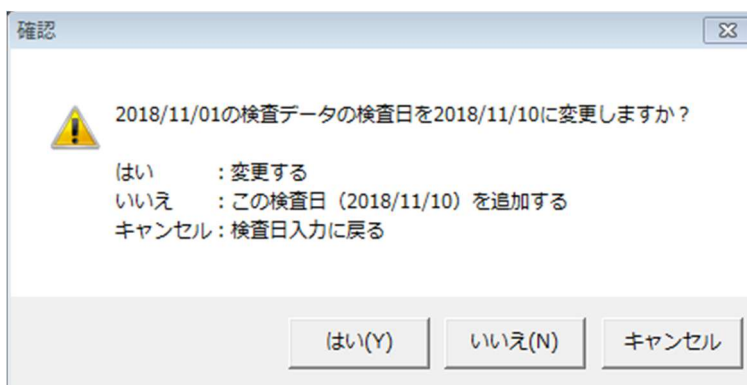
データ入力後、「保存」ボタンをクリックします。
確認メッセージ画面で「OK」ボタンをクリックします。



データ入力後、「保存」ボタンをクリックせずに、終了や画面の切り替えをしようとする
と保存確認メッセージ画面が表示されますので、「はい」ボタンで保存してください。



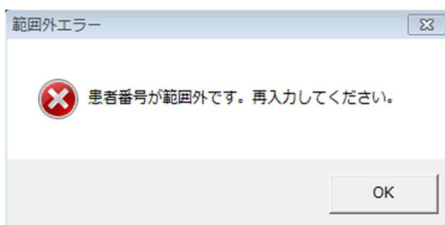
すでに入力済みデータの「**検査日**」を変更した場合は、以下の確認画面が表示されます。
適切なボタンを選択してください。



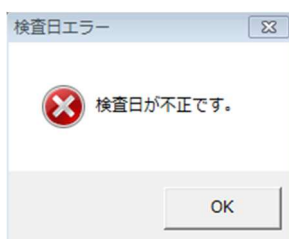
はい : すでに入力済みデータの「検査日」を変更して**上書**します。(検査日の修正)

いいえ : 指定された検査日のデータを**追加**します。(変更前のデータはそのまま)

■保存時の警告メッセージ

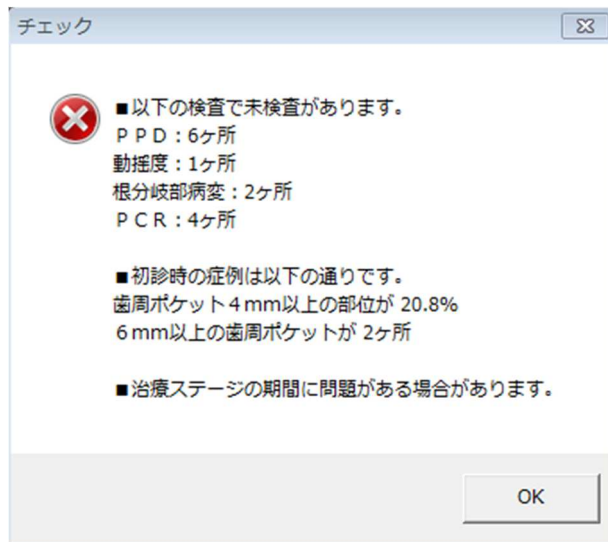


患者番号の入力で、範囲外の番号が
入力された場合に表示されます。



検査日の入力で、年月日の入力規則に
違反する場合に表示されます。

■保存時のお知らせメッセージ

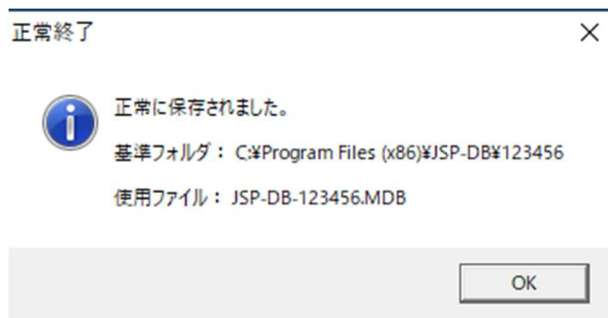


以下の内容をお知らせします。

- ・入力画面の未検査部位の部位数
- ・初診時の症例の状態
- ・検査日の問題有無

(SPT 移行時と最新 SPT 時)

表示された内容から検査日／検査データを見直してください。



保存先をお知らせします。

- ・フォルダ名
- ・ファイル名

5-6. 検査データ追加

新規の検査日のデータを入力する場合は、「検査データ追加」ボタンをクリックします。

検査データ追加

5-7. 表示データ削除

表示されている **1 日分のデータ** を削除します。
表示されているデータを確認し、「表示データ削除」ボタンをクリックします。
確認メッセージ画面で「はい」ボタンをクリックします。

表示データ削除

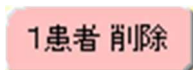
5-8. 1 患者削除

表示されている**患者番号のすべてのデータ**を削除します。

表示されている患者番号を確認し、「1 患者 削除」ボタンをクリックします。

確認メッセージ画面で「はい」ボタンをクリックします。

※その患者番号の表示されていない日付のデータも削除されますので、注意してください。



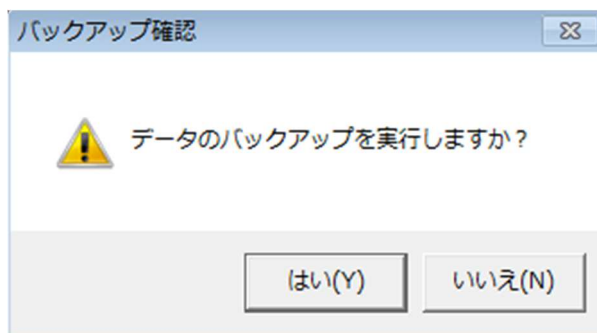
5-9. プログラムの終了

プログラムを終了するには、「終了」ボタンをクリックします。

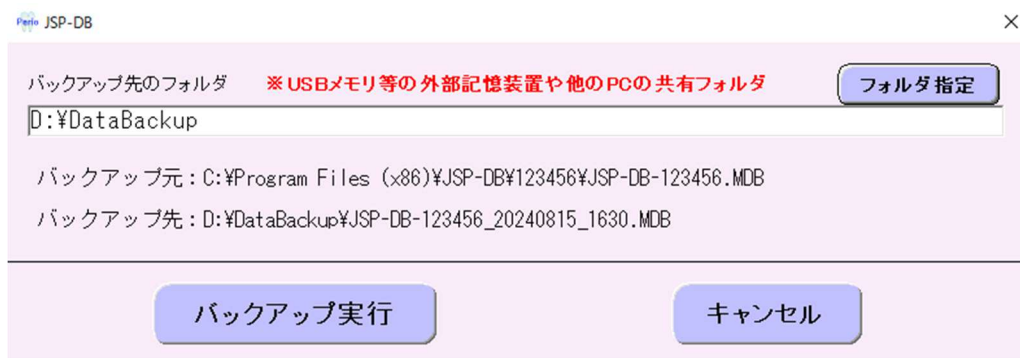
データが保存されていない場合は、保存確認メッセージ画面が表示されます。



データのバックアップの確認画面が表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、バックアップ画面が表示されます。



「フォルダ指定」ボタンをクリックし、バックアップ先のフォルダを指定します。

「バックアップ」ボタンをクリックし、バックアップを実行します。

※2回目以降は、前回のバックアップフォルダが自動で表示されます。

※PC 故障に対応できるように必ず PC 本体以外を指定してください。

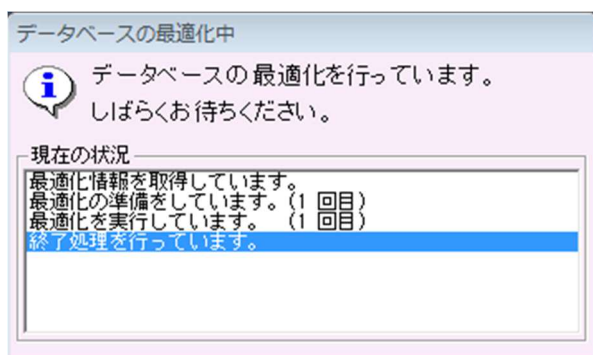
バックアップ先でのファイル名は、以下の形式です。

使用中ファイル名_YYYYMMDD_HHMM.mdb

YYYYMMDD : バックアップ時の西暦年月日

HHMM : バックアップ時の時分

バックアップを実行する／しないにかかわらず最後に、最適化が実行されます。



6. チャート表示と印刷

検査データ入力画面で、「表示／印刷」「PDF 出力」ボタンをクリックすると、選択されている患者番号のプリンタへの印刷／PDF ファイル出力ができます。

表示／印刷

6-1. チャート表示画面の構成

タブにて画面を切り替えます。(印刷の前に確認ができます。)

表示／印刷

① 初診時・基本治療終了時 | SPT移行時・最新SPT時 | 検査データ

⑦

検査日	現在歯数	PPD総数	BOP(+)	PPD平均	1-3mm	4-5mm	6mm以上
2012/08/12	30	180	143 (79.4%)	5.3mm	26 (14.4%)	85 (47.2%)	69 (38.3%)
2012/10/16	28	168	3 (1.8%)	2.6mm	147 (87.5%)	20 (11.9%)	1 (0.6%)

⑥

③

④

⑤

患者番号 99

症例番号

登録済み一覧

2012/08/12 初診時

2012/10/16 基本治療終了時

2013/11/23 SPT移行時

2016/01/22 最新SPT時

専門医

検査データ印刷 PDF出力

チャート印刷 PDF出力

認定医

検査データ印刷 PDF出力

チャート印刷 PDF出力

認定歯科衛生士

検査データ印刷 PDF出力

チャート印刷 PDF出力

入力画面に戻る

* 根分岐部病変 および 歯の情報表示は、初診時が優先されます。

① 3画面切り替えタブ

初診時・基本治療終了時

根分岐部病変と歯の情報は初診時のデータ

SPT移行時・最新SPT時

根分岐部病変と歯の情報は最新SPT時のデータ

検査データ

登録済み一覧のすべての検査値を表示

② 患者番号(選択中の患者)／症例番号(指定されていない場合は患者番号を印刷)

③ 登録済みの検査データの一覧 (日付・治療ステージ)

④ 印刷ボタン／PDF出力ボタン(検査データ／チャート)

PDFファイルは、デスクトップの「JSP-DB-SAVE」フォルダに保存されます。

・ 検査データの PDF ファイルの例 : N_123456_5_D_20240814_1612.pdf

・ チャートデータの PDF ファイルの例 : N_123456_5_C_20240814_1615.pdf

⑤ 入力画面に戻る

⑥ タブ別のチャート・検査データ

⑦ タブ別の集計結果

	検査日	現在歯数	PPD総数	BOP(+)率	PPD平均	1-3mm	4-5mm	6mm以上
初診時	2012/08/12	30	180	143 (79.4%)	5.3mm	26 (14.4%)	85 (47.2%)	69 (38.3%)
基本治療終了時	2012/10/16	28	168	3 (1.8%)	2.6mm	147 (87.5%)	20 (11.9%)	1 (0.6%)

PPD チャートの線の色、BOP(+) 出血ありの色と同じ

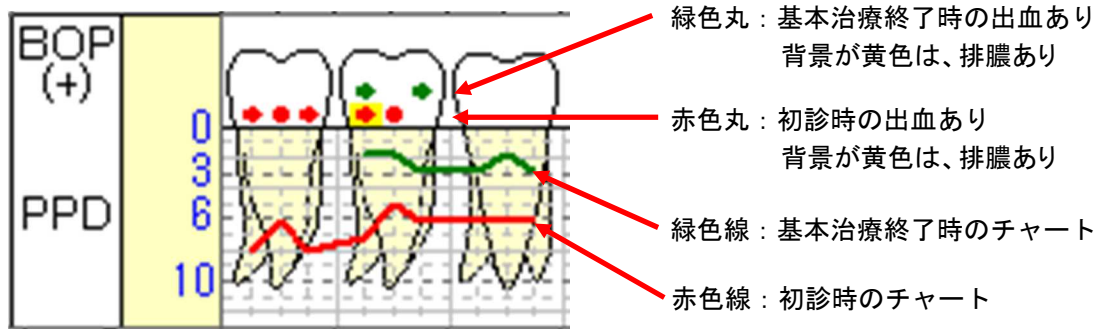
- ・ 検査日 検査年月日
- ・ 総歯数 検査日付の測定対象歯数
- ・ PPD総数 検査対象ポケット箇所総数
- ・ BOP(+) 検査時の出血ポケット数と割合
- ・ PD平均 全ポケット深さの平均値
- ・ 1-3mm ポケット深さが 1-3mm のポケット箇所数と割合
- ・ 4-5mm ポケット深さが 4-5mm のポケット箇所数と割合
- ・ 6mm以上 ポケット深さが 6mm以上 のポケット箇所数と割合

6-2. チャートの見方

結果はステージごとに色分けされています。

- 赤色：初診時
- 緑色：基本治療終了時
- 青色：SPT移行時
- 桃色：最新SPT時

<初診時・基本治療終了時の例>

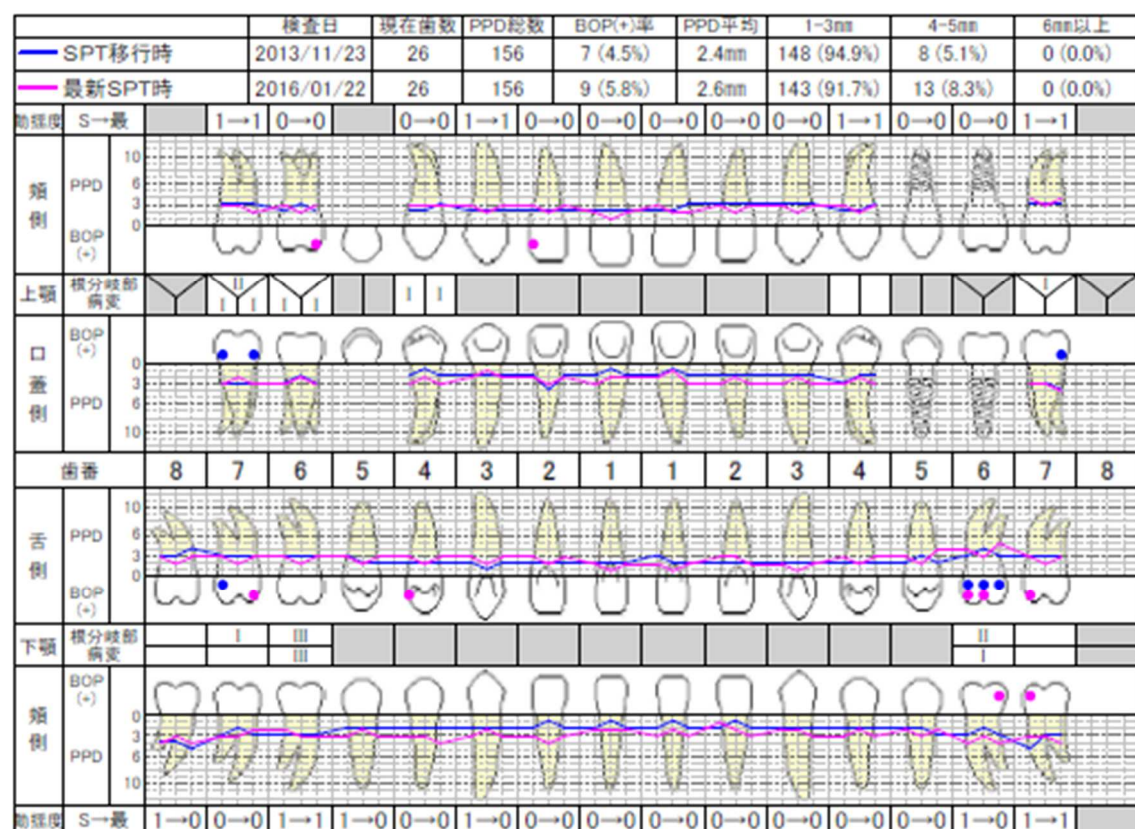
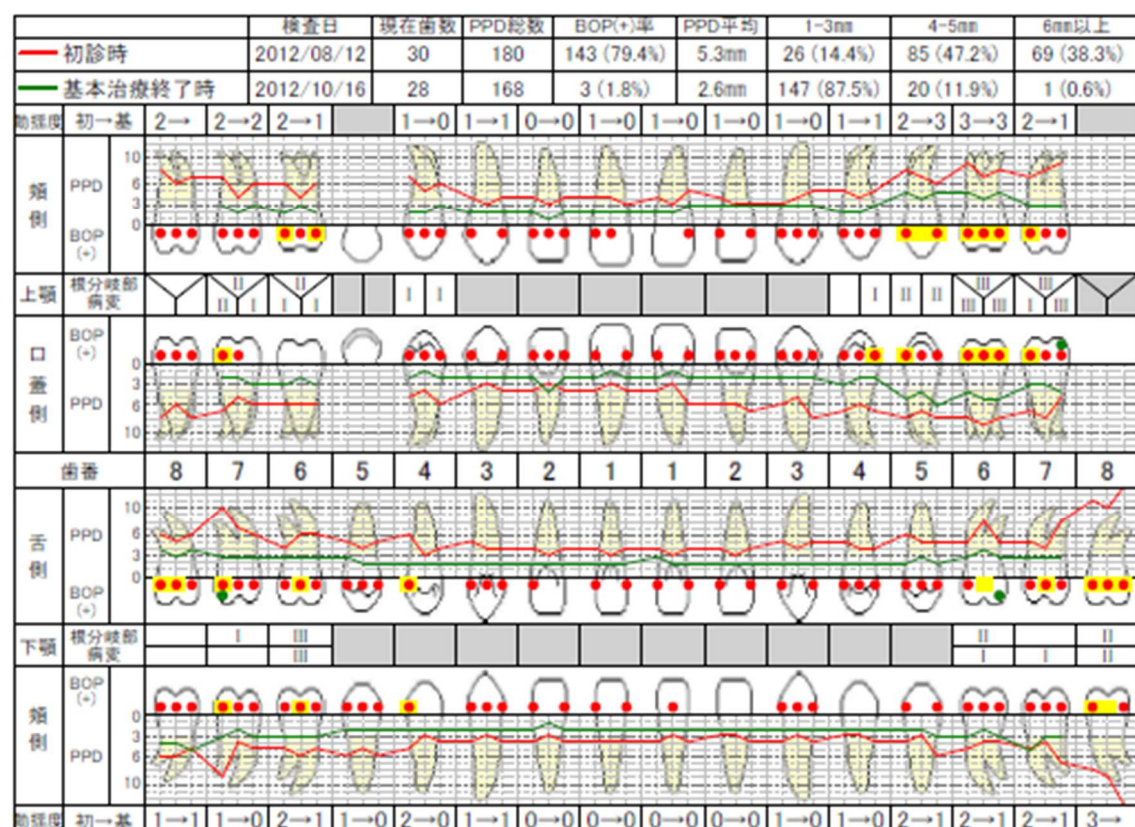


6-3. チャート印刷

画面右の該当の印刷ボタンをクリックし印刷します。

様式 8-1、様式 8-2 の印刷見本です。(認定歯科衛生士の場合は、様式 7-1、様式 7-2)
PISA/PESA の注意点 : PPD13mm 以上は 12mm で計算しています。

JSP-DSC

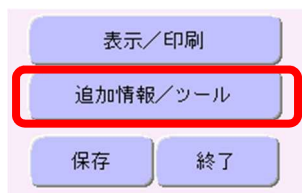


*根分岐部病変 および 歯の情報表示は、上段:初診時、下段:最新SPT時 が優先されます。

7. 追加情報の入力

7-1. 「追加情報／ツール」画面の表示

患者番号を選択して、入力画面右下の「追加情報／ツール」をクリックします。



患者番号は必須です。

治療ステージが「初診時」のみ入力可能です。

7-2. 追加情報の入力

追加情報 | 提出用ファイル作成 | JSP-Chartインポート | データの管理 | Perio navi インポート | 操作マニュアル他 | バージョンアップ

患者番号 * : 必須項目

生年月 * YYYYMM

性別 *

主訴 *

☐ 1 腫脹 ☐ 2 動揺
☐ 3 疼痛 ☒ 4 出血
☐ 5 咬めない ☐ 6 抜歯宣告
☐ 7 違和感 ☐ 8 口臭
☐ 9 歯肉退縮 ☐ 10 その他

身長・体重 cm kg

喫煙歴 * 現在喫煙(10本/日 未満)

1日の本数

喫煙年数

既往歴 * 全身疾患あり

病名

☐ 1 脳梗塞 ☒ 2 心血管疾患
☒ 3 高血圧 ☐ 4 脂質異常症
☐ 5 糖尿病(HbA1c7.0%以上)
☐ 6 糖尿病(HbA1c7.0%未満)
☐ 7 メタリックシフトローム ☐ 8 慢性腎臓病
☐ 9 慢性腎臓病以外の腎疾患
☐ 10 脂肪肝(アルコール性、非アルコール性)
☐ 11 脂肪肝以外の肝臓疾患
☐ 12 産科・婦人科系疾患
☒ 13 消化器疾患 ☐ 14 呼吸器疾患
☐ 15 耳鼻咽喉疾患 ☐ 16 血液疾患
☐ 17 悪性腫瘍 ☐ 18 膠原病
☐ 19 骨粗鬆症 ☐ 20 リウマチ
☐ 21 精神疾患 ☐ 22 その他

服薬 1 あり

薬名

☐ 1 脂質異常症薬 ☒ 2 降圧薬
☐ 3 抗血栓薬 ☒ 4 抗不整脈薬
☐ 5 糖尿病治療薬 ☐ 6 骨粗鬆症薬
☐ 7 抗てんかん薬 ☐ 8 抗がん剤
☐ 9 免疫抑制薬 ☐ 10 消化性潰瘍治療薬
☐ 11 抗うつ薬、抗不安薬、睡眠導入薬
☐ 12 その他

教育歴 大学・専門学校以上

直近1年以内の
歯科受診歴 あり

歯周治療の既往 あり

歯周病の家族歴 なし

1日の歯磨き回数

補助器具の使用 あり

喪失歯数(智歯を除く) *

未処置歯(智歯を除く) (二つう録含む)

治療済み歯数(智歯を除く)

下顎位置関係 右 Angle 級

左 Angle 級

不正咬合

☒ 1 正常咬合 ☐ 2 過蓋咬合
☐ 3 切端咬合 ☐ 4 開咬
☐ 5 反対咬合

歯列 正常歯列弓

側方運動時
右側の作業側誘導

側方運動時
左側の作業側誘導

前方運動時の誘導

咬合性外傷 あり

早期接触

平衡側干渉

フレミタス

ブラキシズム あり

口呼吸 あり

食片圧入 なし

矯正治療の既往 なし

骨吸収(全体の平均) 歯根長の15%未満

骨吸収が最大の部位

保存する計画の歯の
なかで最大骨吸収

診断 * 歯周炎

JSP診断名 限局/広汎 * 限局型 慢性/侵襲 * 慢性歯周炎

新分類診断名 ステージ * ステージI グレード * グレードA

歯周外科治療 * あり

切除療法

組織付着療法

歯周組織再生療法

歯周形成外科

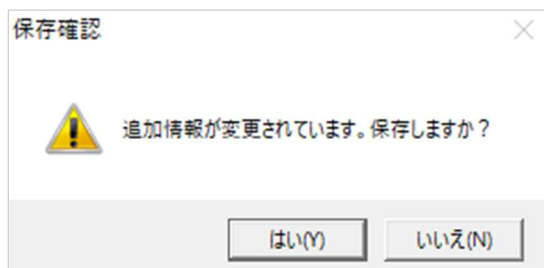
初診時のみ入力可能

入力画面に戻る

保存

各項目を入力して「保存」をクリックします。

「保存」をクリックせずに「入力画面に戻る」をクリックすると確認画面が表示されます。



「はい」 : 保存されます。

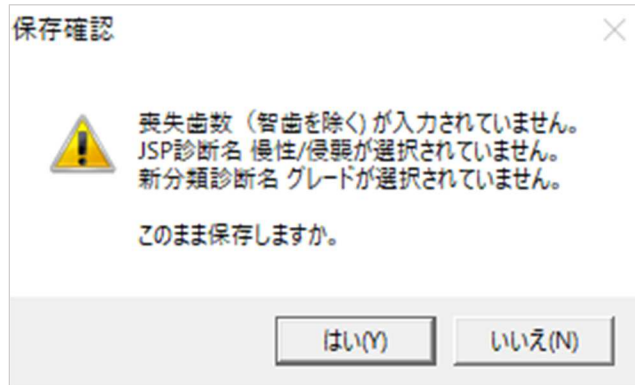
「いいえ」 : 保存されません。

保存時に必須項目等のチェックを行います。

不備がある場合はその内容が表示されます。

不備のまま保存できますが、提出用ファイル作成までには正しく入力してください。

不備を残したままでは、提出用ファイルは作成できません。



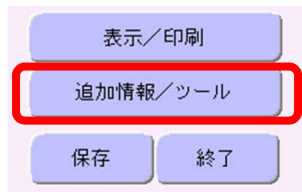
「はい」 : 保存されます。

「いいえ」 : 保存されません。

8. 提出用ファイル作成

8-1. 「追加情報／ツール」画面の表示

入力画面右下の「追加情報／ツール」をクリックします。



8-2. 提出用ファイル作成

- ①「提出用ファイル作成」をクリックします。
- ②「区分」を選択します。
- ③「ファイル作成開始」をクリックします。

不備が残っている場合、ZIP ファイルは作成されません。

以下のようなテキストファイルが表示されます。

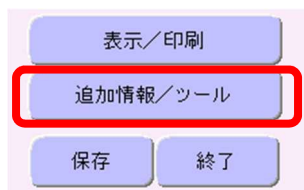
修正後、再度ファイル作成を実行してください。

```
患者番号:1 JSP診断名 慢性/侵襲が選択されていません。↓
患者番号:1 新分類診断名 グレードが選択されていません。↓
患者番号:2 服薬の回答と薬名チェックに矛盾があります。↓
患者番号:3 主訴が選択されていません。↓
```

9. 旧版 J S P チャートインポート

9-1. 「追加情報／ツール」画面の表示

入力画面右下の「追加情報／ツール」をクリックします。



9-2. J S P チャートインポート

提出用ファイル作成 | 旧版JSP-Chartインポート | データの管理 | Perio navi インポート | 操作マニュアル他 | バージョンアップ

インポートする旧版JSP-ChartのDBファイル
C:\Program Files (x86)\JSP2\PNJSP2.MDB

※ファイル指定の方法は以下の通りです。

- <方法1> このPCで1個人で旧版JSP-Chartを使用されていた場合
表示されているファイルのままインポートしてください。(表示されていない場合はファイル指定)
- <方法2> このPCで複数人で旧版JSP-Chartを使用されていた場合
「ファイル指定」でファイルを指定後インポートしてください。
- <方法3> 別のPCで旧版JSP-Chartを使用されていた場合
ファイルをUSB等へコピーし、「ファイル指定」でファイルを指定後インポートしてください。

JSP-Chartからインポートする時の処理方法

- ☒ JSP-Chart-DBの全データを削除後、インポートする。
- ☐ 旧版JSP-Chartに存在する患者番号と同じ患者番号のデータをJSP-Chart-DBから削除後、インポートする。

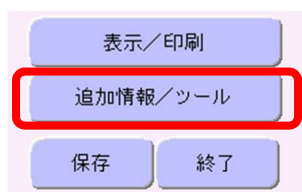
- ① 「旧版 J S P チャートインポート」をクリックします。
- ② 旧版 JSP-Chart の DB ファイル (PNJSP2.MDB) を指定します。(ファイル指定方法を参照)
- ③ 処理方法を選択します。(通常はこのままの選択)
- ③ 「インポートを実行」をクリックします。

※インポート完了後、入力画面に戻り、患者番号を指定してデータを確認します。

10. データ管理

10-1. 「追加情報／ツール」画面の表示

入力画面右下の「追加情報／ツール」をクリックします。



10-2. データ管理の表示



「データ管理」をクリックします。

10-3. データのバックアップ

「フォルダ」と「ファイル名」を指定します。

「バックアップ実行」をクリックしバックアップします。

ファイル名の拡張子は、必ず、「MDB」にしてください。

データのバックアップ

バックアップデータを保存するフォルダ (外部記憶装置や他のPCのフォルダ)

バックアップデータを保存するファイル名 (変更可能)

フォルダ指定

バックアップ実行

10-4. データの復元

バックアップで保存したファイルを指定します。

「復元実行」をクリックしデータを復元します。

データの復元

バックアップで保存されたファイル

ファイル指定

復元実行

※データの復元は、使用中の検査データファイルに上書きされます。
注意して実行してください。

※復元実行前に、現在使用中ファイルのバックアップを自動で実行します。

10-5. 会員番号の変更

バックアップで保存したファイルを指定します。

「復元実行」をクリックしデータを復元します。

会員番号の変更
会員番号を間違えて使用していた場合、仮の会員番号で使用していた場合は、会員番号の変更が必要です。

を に

変更する会員番号を入力します。

「変更する」をクリックします。

上記の例では以下のように変更されます。

フォルダ : C:\Program Files (x86)\JSP-DB\123456

データファイル : JSP-DB-123456.MDB



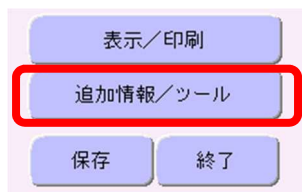
フォルダ : C:\Program Files (x86)\JSP-DB\654321

データファイル : JSP-DB-654321.MDB

11. バージョンアップ

11-1. 「追加情報／ツール」画面の表示

入力画面右下の「追加情報／ツール」をクリックします。



11-2. バージョンアップの表示



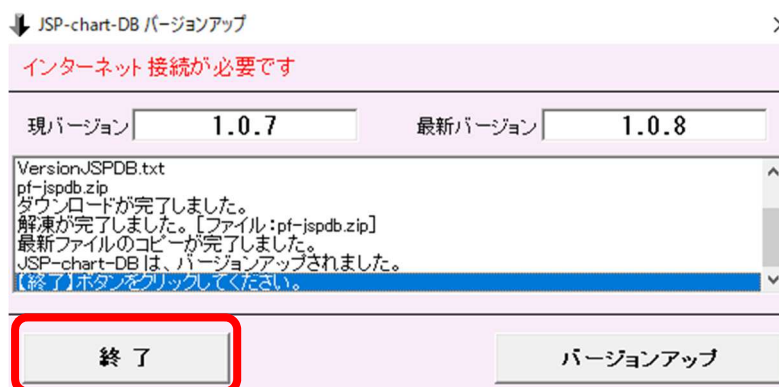
「バージョンアップ」をクリックします。

必要事項を入力し、「バージョンアップの確認」をクリックします。

11-3. バージョンアップの確認と実行



バージョンアップが必要であれば、「バージョンアップ」をクリックします



バージョンアップが完了したら、「終了」をクリックします

12. データ不備時のメッセージ

検査データに未入力箇所があると評価できません。動揺度が0、プラークがなしであっても必ず入力してください。未入力部分があると保存時に「未検査」としてメッセージがでます。また申請の適応症例や検査ステージの期間については規程があります。申請資料作成の規程を精読し、症例選択基準を確認ください。規程に準拠していない可能性がある場合に以下のメッセージが出ることがあります。

The screenshot shows the JSP-Chart-DB Ver.1 (1.0.7) interface. At the top, there's a header bar with the title '日本歯周病学会 専門医・認定医・認定歯科衛生士用 歯周検査ソフト JSP-Chart-DB Ver.1 (1.0.7)'. Below this, there are input fields for '患者番号' (98), '検査データ' (2013/03/10), and '最新SPT時'. A red box highlights the date '2013/03/10'. A modal window titled 'チェック' (Check) is displayed in the center, containing the following text:

- 以下の検査で未検査があります。
PPD: 2ヶ所
動揺度: 1ヶ所
PCR: 4ヶ所
- 初診時の症例は以下の通りです。
歯周ポケット 4 mm以上の部位が 28.0%
6 mm以上の歯周ポケットが 2ヶ所
- 治療ステージの期間に問題がある場合があります。

The modal window has an 'OK' button. The background shows a grid of data entry fields for various parameters like PPD, Miller, Lindhe & Nyman, and O'Leary. A red box highlights a '0' in the Miller section. On the right side, there are buttons for '16 以上', '13', '14', '15', '10', '11', '12', '7', '8', '9', '4', '5', '6', '1', '2', '3', '0', '病変なし', 'PCR全歯(+)', 'PCR全歯(-)', 'PCR4面(+)', 'PCR4面(-)', '出血', '出血一括', '検査データクリア', '排膿', '排膿一括', 'MT', 'インプラント', 'ボンディック', '表示/印刷', '追加情報/ツール', '保存', and '終了'.

- 本マニュアルの内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本マニュアルの内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなど発生することがありますが、ご了承ください。